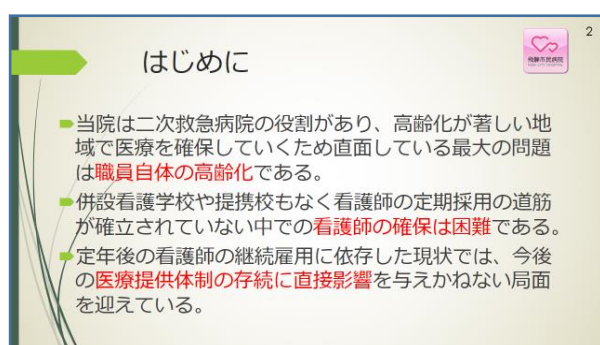


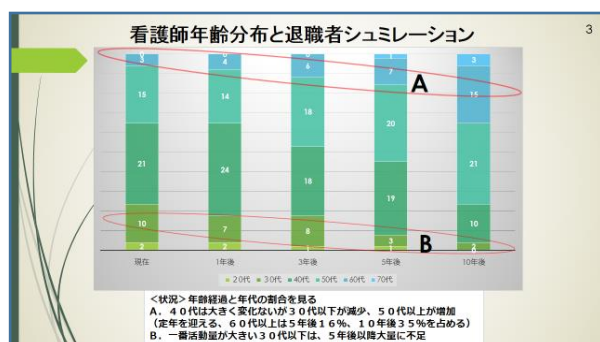
No. 5 5	演題名 【輝ける里山ナースに焦がれて】
	発 表 者 岩崎 美幸 (国民健康保険飛騨市民病院) 共同研究者 梶崎伊寿美、中野亜李紗、宮腰結衣、巢之内大輔、谷口敬康、洞口拓也 佐藤直樹、上出久行



当院は二次救急病院の役割があり、高齢化が著しい地域で医療を確保していくため直面している最大の問題は職員自体の高齢化です。

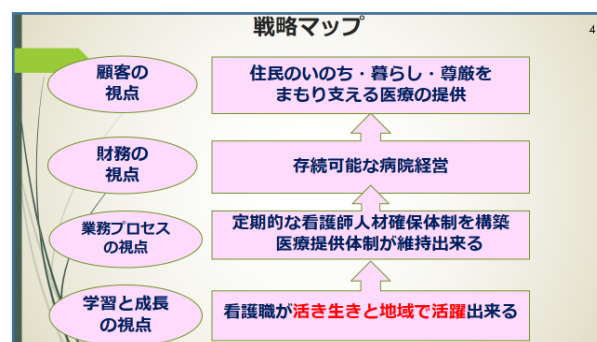
併設看護学校や提携校もなく看護師の定期採用の道筋が確立されていない中での看護師の確保は困難です。

定年後の看護師の継続雇用には依存した現状では、今後の医療提供体制の存続に直接影響を与えかねない局面を迎えています。

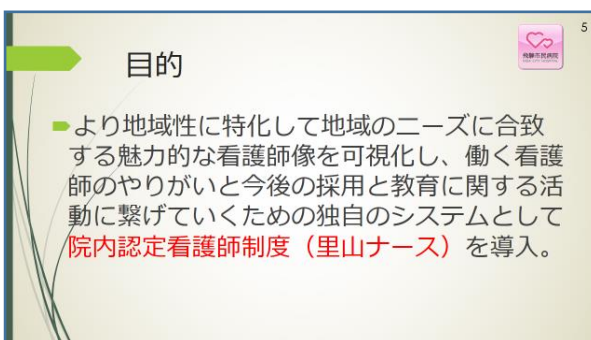


看護師年齢分布と退職者シュミレーションのグラフです。30代以下が減少し50代以上が増加、Aは定年を迎える60代以上が5年後16%、10年後3

5%を占め、Bは一番活動量が大きい30代以下は、5年後以降大量に不足を示しています。昨年の資料なのでさらに進んでいます。



そこで学習と成長の視点から、「在職中の看護職が活き活きと地域で活躍出来る」ことが必要であり、業務プロセスの視点は「定期的な看護師人材確保体制の構築で医療提供体制が維持出来る」財務の視点は、「存続可能な病院経営」となり、顧客の視点「住民のいのち・暮らし・尊厳をまもり支える医療の提供」となります。



そこで目的は、より地域性に特化して地域のニーズに合致する魅力的な看護師像を可視化し、働く看護師のやりがいと今後の採用と教育に関する活動に繋げていくための独自のシステムとして院内認定看護師制度（里山ナース）を導入しました。



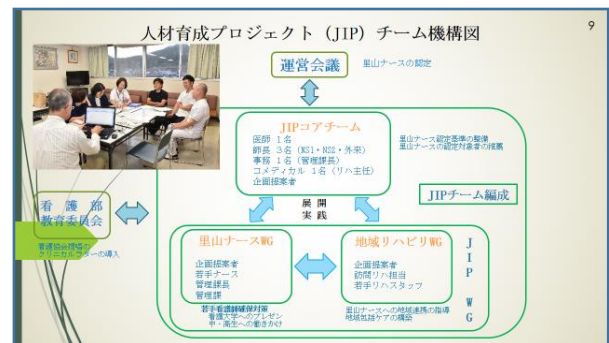
古より里人の暮らしを肅々と守ってきた里山にちなんで「里山ナース」と命名しました。



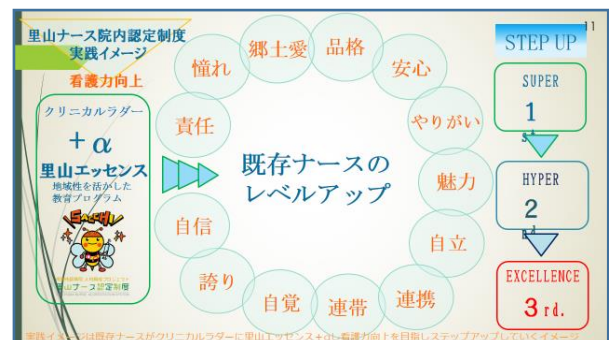
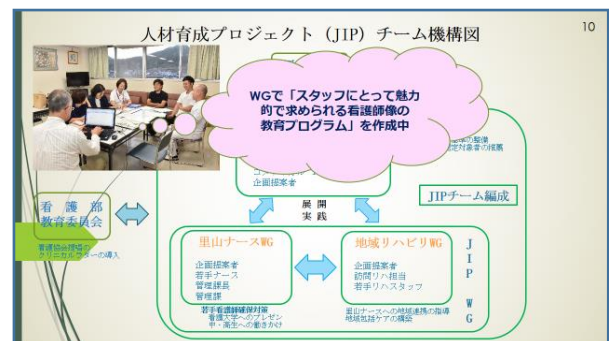
里山ナースはいのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護を大切に病院の枠を超えて多職種との連携・調整を推進し、地域住民が望む場所でその人らしく生きることを家族も含めて支えていく看護師で、急性期から救急～慢性期、終末期、看取り、在宅支援、新人指導までに関わることを定義に入れています。

- 具体策**
- 1) 人材育成プロジェクトチームを組織化し、実働的に計画を推進するワーキンググループで活動を開始
 - 2) 教育プログラムは、日本看護協会クリニカルラダーの導入に絡め、院内認定看護師制度「里山ナース」の教育ラダーを構築

具体的には人材育成プロジェクトチームを立ち上げ、実働的に計画推進する看護師、リハビリスタッフがコラボしたワーキンググループを組織化し活動開始しています。教育プログラムは日本看護協会クリニカルラダーの導入に絡め、院内認定看護師制度「里山ナース」の教育ラダーの構築を行っています。



人材育成プロジェクトチームの機構図はスライドをご参照ください。現在はワーキンググループでスタッフにとって魅力的で、求められる看護師像の教育プログラムを作成中です。



実践イメージはこのスライドの通りですが、既存ナースがクリニカルラダーに里山エッセンスを+αし看護力の向上を目指し、ステップを3段階としてレベルアップしていくイメージです。



キャラクターが決まり名前は「サッチ」それぞれ段階に応じてアップしバッジをつけて可視化することを考えています。

認定証書には飛騨市長と院長の連名でいただけることに決定しています。

13

里山ナース院内認定制度

定義 救急から急性期看護、慢性期看護へ地域に根ざり、看護を取り巻く環境を「いのち・暮らし・尊厳をまもる」ことを目指す。

レベル 目的 救急・急性期看護 慢性期看護 地域に根ざり、看護を取り巻く環境を「いのち・暮らし・尊厳をまもる」ことを目指す。

カリキュラム 3段階に応じた目的とカリキュラム「スタッフにとって魅力的で求められる看護師像の教育プログラム」熟慮中

3段階に応じた目的とカリキュラム内容

3段階に応じた目的とカリキュラム内容はスライドの通りです。

14

SUPER(1st.)

カリキュラム紹介

1st -SUPER- 飛騨市民病院 里山ナース認定制度

SUPER(1st.)のカリキュラム紹介です。

15

インストラクター参加の皆さん

第41回CLSさるぼコースin飛騨市民病院 平成30年10月27日の様子

SUPER(1st.) 救急蘇生を学ぶコースの受講・インストラクター参加

スーパーであるファーストのカリキュラムのひとつとして、救急蘇生を学ぶコースへのインストラクターや受講生としての参加協力

16

Q 1. ELNEC-J (エルネック-ジェイ) コアカリキュラム教育プログラムとは???

2000年に米国のアメリカ看護大学協会とCity of Hope National Medical Centerが、共同して開発したエンド・オブ・ライフ・ケア(終末期ケア)を提供する看護師をはじめとした医療従事者を対象とした系統的・包括的な教育プログラムを、日本の文化や実状に合わせて改訂した日本独自の教育プログラム。

Q 2. 研修の形態は・・・???

本プログラムの教育形態の特徴

a. エンド・オブ・ライフ・ケアの基本的事項を網羅!!

b. ケーススタディ、ロール・プレイ、グループワークなどの様々な教育手法がふんだん!

c. 臨床において『何が出来るか』を考える学習内容!

d. 実践にすぐ役立つ!

SUPER(1st.) ELNEC-J (エルネック-ジェイ) 受講

また、エンド・オブ・ライフ・ケア(終末期ケア)を提供する系統的・包括的な教育プログラムで実践にすぐ役立つ研修への参加

17

飛騨市、高山市と行政区を越えた、顔の見える関係づくり

SUPER(1st.) 多職種連携研修会 高原郷ケアネット

あとは、多職種連携研修会飛騨市、高山市と行政区を越えた、顔の見える関係づくり高原郷ケアネットへの参加をあげています。

18

HYPER(2nd.)

カリキュラム紹介

2nd -HYPER- 飛騨市民病院 里山ナース認定制度

HYPER(2nd.)のカリキュラム紹介です。

19

ケアマネージャーの資格取得

利用者の希望や心身の状態を考慮して、在宅や施設での適切なサービスが受けられるよう関係機関との連絡調整が必要

HYPER(2nd.) ケアマネージャーの視点が重要

ハイパーセカンドの目玉がケアマネージャーの資格取得です。利用者の希望や心身の状態を考慮して、在宅や施設での適切なサービスが受けられるよう関係機関との連絡調整が必要と考えました。

第8回飛騨市民病院祭 平成30年11月3日の様子

HYPER(2nd.) 市民への啓発活動 (病院祭などの企画・運営の能動的な活動)

ハイパーであるセカンドのカリキュラムは市民への啓発活動などを企画・運営に向けて能動的に活動できることを考えています。



たとえば、先日行った病院祭では市民を対象に「自分らしく生きて逝く」として終活について伝え、入棺体験を企画し最後にエンディングノートをお渡ししましたが、このような市民に向けた啓発活動をハイパーのセカンドにしました。



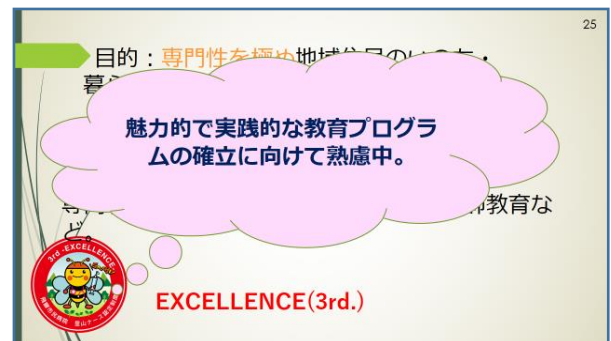
また市民の方々にまじってまちづくりを推進する講座で、自ら計画立案し参加者の前で発表するといった健康まちづくりマイスター講座への参加もいれました。



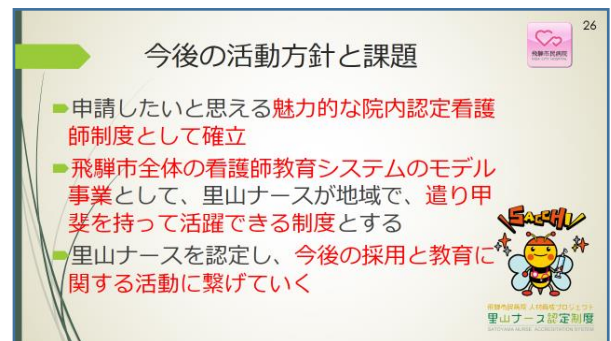
今年 5 月～7月に行われ私自身も参加させていただき「その人らしく生きる」を支える看護を地域にというタイトルでこのスライドで発表しました。



EXCELLENCE(3rd.)のカリキュラム紹介です。



エクセレンスサードはより専門性を極め地域住民のいのち・暮らし・尊厳をまもる看護の提供ができることを目的とします。教育・管理・専門的知識技術に視点を置いたプログラムにしたいと考えていますが、魅力的で実践的な教育プログラムの確立に向けて熟慮中です。



今後の活動方針と課題は、申請したいと思える魅力的な院内認定看護師制度として確立し、飛騨市全体の看護師教育システムのモデル事業として、里山ナースが地域で、遣り甲斐を持って活躍できる制度とする里山ナースを認定し、今後の採用と教育に関する活動に繋げていくことを課題として活動しています。

『自分らしく生きる』に
そっと寄り添う
『あんきな暮らし』を
ずっと支える
『あなたの思い』を
きっとかなえる

『自分らしく生きる』に そっと寄り添う

『あんきな暮らし』を ずっと支える

『あなたの思い』を きっとかなえる

院内認定看護師制度
(里山ナース)
まだまだ進化します。

『あなたの思い』を
きっとかなえる

院内認定看護師制度（里山ナース）まだまだ進化します。